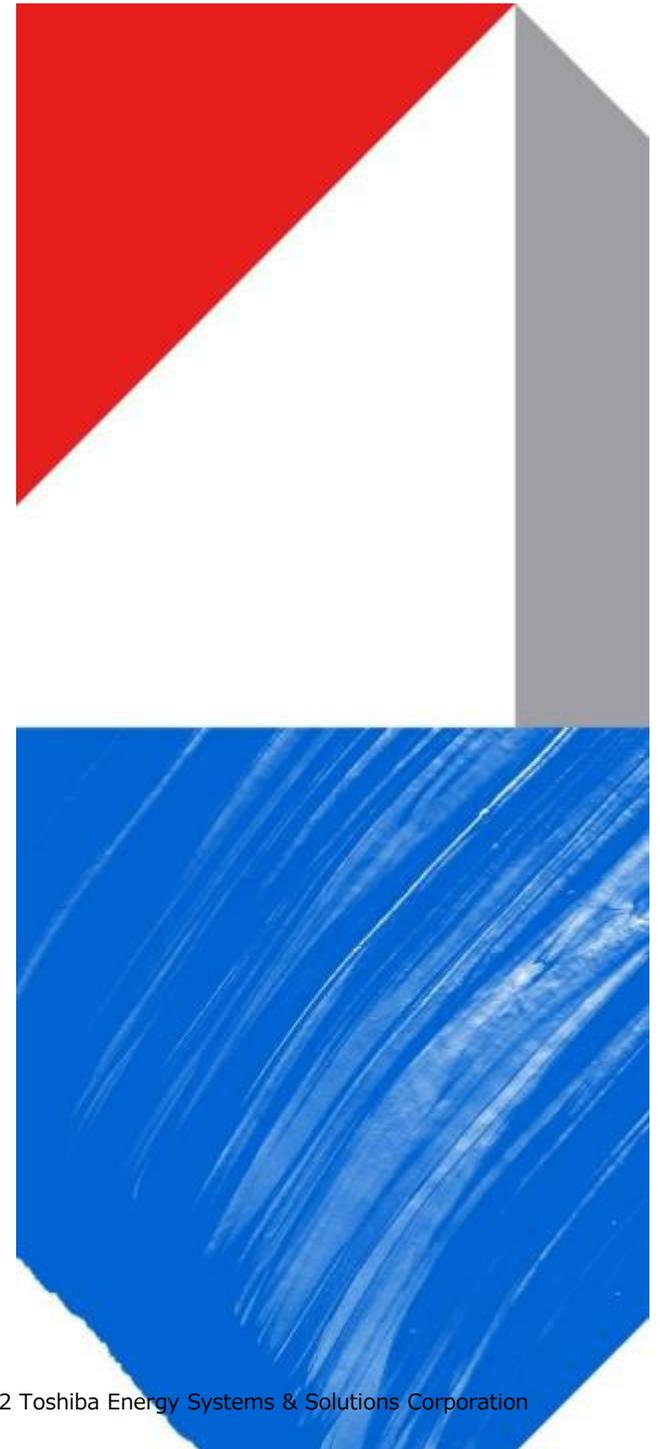


TOSHIBA

原子力災害と原子力防災

東芝エネルギーシステムズ株式会社
原子力技術研究所



Contents

01 原子力災害の特徴

02 原子力防災



01 原子力災害の特徴

原子力災害とは、原子力施設の事故により放射性物質が放出され、施設周辺の住民や環境などに直接または間接的に影響、被害が生じることです。

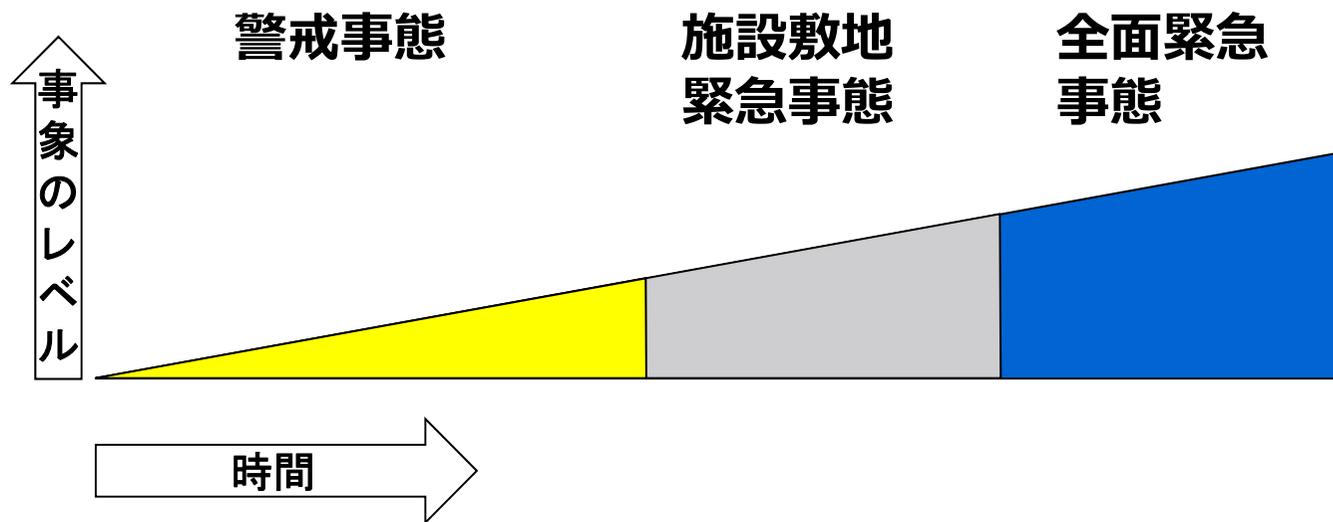
原子力災害が自然災害や火災などの一般災害と大きく異なる点は、原子力施設では核燃料や放射性物質を取り扱っているため、事故等によって放射性物質が放出されることによる影響に対して対策を講じる必要があることです。

また、放射性物質から出る放射線は人間の五感で感じるできないため、適切な測定器具を用いることが重要であることも他の災害と異なる点です。

そのため、地方公共団体や原子力施設を有する事業者は、放射線測定器を備えたモニタリングポストなどにより大気中の放射線量等の測定を行っており、万一が一事故等で放射線量が上昇した際には、モニタリングポストなどの実測値に基づいて応急措置を行なうこととしています。

02 原子力防災（1）

原子力災害のレベル区分



原子力災害特別措置法（原災法）では周辺住民へ放射線の影響が及ぶ恐れのある原子力災害への対応が定められています。

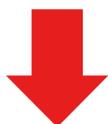
02 原子力防災（2）

げんさいほう

原子力災害特別措置法（原災法）

- ・ 迅速な通報
- ・ 応急措置
（被ばくを最小限に食い止める）
- ・ 必要な防災資器材の整備
- ・ 定期的な訓練

原子力規制
委員会



原子力事業
者

業務計画

原子力事業者防災業務計画を作成し
原子力災害への対応を定めています

備えるべき資器材

通報手段、放射線障害防護用器具
放射線測定器

訓練の実施

防災訓練の計画・実施・報告・改善

02 原子力防災（3）

備えるべき資器材

通報手段、放射線測定器、放射線障害防護用器具

無線 FAX

非常時用通信機器

放射線サーベイメータ



放射線測定器

防護衣



防護マスク



防護用器具

02 原子力防災（4）

訓練の実施

防災訓練の計画・実施・報告・改善

- 昨年度の改善点を考慮し、訓練のシナリオ作成
- シナリオを原子力災害担当へ説明

- ブラインド訓練
各防災要員が、訓練詳細を事前に知らされない状態で、訓練を実施

- 実施報告内容から改善点やコメントを受ける
- 改善点を社内で議論し、次回の訓練を検討

- 反省会（各防災要員、評価者）
- 実施内容を原子力災害担当へ報告



TOSHIBA

以上

